



# あたらしい本

第230号 2023. 2. 15 発行 (こども版)



## たくさんよんでくださいね！

「ねこのおふろや」 <sup>きたむらゆう か え</sup>北村裕花/絵 <sup>ぶん</sup>くさかみなこ/文  
<sup>かん</sup>アリス館 (えほん <sup>ようじむ</sup>幼児向き)

ここは満月の夜にだけひっそりひらくねこのおふろや。今日もたくさんのねこたちで賑わっているようです。番台でお金を払って、準備ができたからおふろばへ。おふろの楽しみのひとつが、ねこ同士の気楽なおしゃべりで…。

「どこでもタクシー」 <sup>すずき</sup>鈴木まもる/さく・え <sup>ぶんけいどう</sup>文溪堂 (えほん <sup>ようじむ</sup>幼児向き)

ジュンくんは、“どこでもタクシー”の運転手。ライオンさんを飛行場へ、カンガルーさんとハナグマさんを新幹線の駅へ送ります。まっすぐ行って、右に曲がって、左に曲がって…。ジュンくんは今日も大活躍！最後のお客様は？

「うみ」 <sup>さく</sup>ピレット・ラウド/作 <sup>うちだ や や こ やく</sup>内田也哉子/訳 <sup>いわなみしよてん</sup>岩波書店  
(えほん <sup>さい</sup>3~5歳・<sup>む</sup>小初向き)

うみは魚たちがねるまえに、物語をいつも読んであげていました。でも、魚たちはふざけてばかり。疲れてしまったうみは…。エストニアの絵本作家がおくる、おやすみ前の読み聞かせの大切さについてのシュールで美しい絵本。

「かまどろぼう」 <sup>きたやまようこ/え</sup>きたやまようこ/え <sup>かつらぶん か</sup>桂文我/ぶん  
<sup>しゅっぱん</sup>BL出版 (えほん <sup>む</sup>小初向き)

「このごろ、とうふ屋のかまがぬすまれている」と聞いたとうふ屋の主人は、心配でかまの中で寝ることに。何も知らないどろぼうたちは、かまをぬすみだしますが…。笑えるどろぼうの落語絵本。

ずかい かいが  
「図解はじめての絵画」

あおやぎまさのり かんしゅう しょうがくかん げいじゅつ げいのう む  
青柳正規/監修 小学館 (芸術・芸能 小向き)

せかい めいがやく てん と あ なに えが ひょうげん  
世界の名画約360点を取り上げ「何が描かれているか」「どのように表現されているか」  
などのテーマで、絵画の見方をわかりやすく解説する。図解イラストや部分図、さら  
え りかい ふか じょうほうとう けいさい  
に絵の理解が深まる情報等も掲載。ワイドページあり。

せい さがわよしえ・さく え  
「晴さんのにぎりずし」佐川芳枝/作 かわいちひろ/絵

こうせいしゅっぱんしゃ  
佼成出版社 (よみもの 小中向き)

や むすめ ひさえ かあ じこ にゅういん どうじ  
おすし屋さんの娘・久恵は、お母さんが事故で入院することになると同時に、ちよつ  
とした誤解からクラスでいじめられるようになってしまう。そんなとき、お店を手伝うた  
め、女性のすし職人・晴さんがやってきて…。

お ましま ちよ  
「バスを降りたら After getting off the bus…」真島めいり/著

けんきゅうしょ  
PHP研究所 (よみもの 小上向き)

つうがく なか み ひと おな ちゅうがく じゅけん ごうかく  
通学のバスの中で見かけるあの人がみたいになりたい…。同じ中学の受験に合格した  
なつる お りつ お あら いっぽ ふ だ なまえ し  
奈鶴と、<落ちた>律。バスを降りたふたりは、新たな一步を踏み出し…。名前も知らな  
い男女の視点で描く青春成長物語。

じんせい たにぐちまゆみ おぎうえ ちよ  
「きみの人生はきみのもの」谷口真由美 荻上千キ/著

しゅっぱん ふくし  
NHK出版 (福祉・ボランティア 小上中向き)

おや せんせい とも はな もんだい こえ こころ  
親にも先生にも友だちにも話せない問題でこまったとき、声をあげてほしい。「心」  
からだ かね なや もんだい と あ こ けんり しょうかい  
「体」「お金」にかかわる悩みや問題を取り上げ、子どもの「権利」を紹介しながら  
かいけつ みち しめ そうだんさき せんもんきかん けいさい  
解決への道を示す。相談先や専門機関も掲載。

さかどしりつちゅうおうとしょかん  
坂戸市立中央図書館 TEL281-6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用